

# 環境保全と観光ーエコツーリズムの可能性ー

## 要旨本文

エコツーリズムは観光振興にどのように効果をもたらすのだろうか。先行研究では、日本型エコツーリズムは限定的で、全国的な普及は難しいとの結論に至っている。しかし、価値観の多様化やマスツーリズムとの比較、さらに2021年に新たにエコツーリズム推進法の全体構想に認定された地域があることを鑑みると、現在において再度いくつかの取り組みを再検討してみれば、エコツーリズムの効果は確認できるだろう。

そこで、本研究では、エコツーリズムは観光振興に良い影響をもたらすことを明らかにするために、文献調査や聞き取り調査を行った。

第1章では、観光の定義や最近の観光形態の変化を明らかにしたうえで、旅のスタイルや楽しみ方の多様化する現代におけるエコツーリズムの有効性を明らかにした。

第2章では、エコツーリズムは体験型のスタイルであるが、いわゆるマスツーリズムにも同様の楽しみ方が存在する。そこでその2つを検証し、エコツーリズムは質が高く深い経験が得られることを明らかにした。

第3章では、エコツーリズムの効果といわれる①環境保全②観光振興③地域振興の3つについて、4つの地域の取り組み事例をもとに検証し、エコツーリズムはその地域の活性化や環境の保全に良い影響をもたらすことを明らかにした。

以上のことから、エコツーリズムは多様化する今の時代にあった魅力があり、その質が高く深い経験が得られるツアーは、地域の活性化や環境の保全に良い影響をもたらすということで観光振興に効果をもたらすことが明らかになった。